

三鷹市教育委員会 様

学園・学校名 三鷹の森学園三鷹市立第五小学校

校長名 中島亮子印

令和6年度教育課程について（届）

このことについて、三鷹市公立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 学園の教育目標

(1) 学園の教育目標

三鷹の森学園は、幅広い知識と教養、真理を求める態度、豊かな情操、健全な心身など全人格的に調和のとれた人間力の育成を目指すとともに、情報化、グローバル化等のさらなる進展を踏まえて、次の4つの資質・能力の育成を通じて小・中一貫教育を実現する。

ア 社会の変化に対応し、自ら学び、知識・技能等を主体的に更新する力

イ 自ら問題を発見し、筋道立てて考えたり、試行錯誤したりしながら問題を解決する力

ウ 多様な人々との対話や協働を通じて、新たな価値やよりよい社会を創造していく力

エ 困難な場面に直面しても、ねばり強くかつ柔軟な発想で人生を切り拓いていく力

(2) 学園の教育目標を達成するための基本方針

スクール・コミュニティの創造を目指し、カリキュラム・マネジメントの視点に立った、教科等横断的な取り組みや、小・中学校のつながり、地域を生かした教育活動を通じ、学園の教育目標に示した4つの資質・能力について、家庭・地域と共有しつつ、全教育活動を通して育成する。

ア 社会の変化に対応し、自ら学び、知識・技能等を主体的に更新する力

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組むとともに、学習活動における日常的なICTの活用を通して、社会の変化に対応できるデジタル・シティズンシップの育成を図る。

イ 自ら問題を発見し、筋道立てて考えたり、試行錯誤したりしながら問題を解決する力

各教科等では、問題の解決に向けて児童・生徒の「粘り強さ」と「自らの学習を調整する力」が発揮される学習課題と学習活動の工夫に取り組む。

ウ 多様な人々との対話や協働を通じて、新たな価値やよりよい社会を創造していく力

社会に開かれた教育課程の下、地域の教育資源の活用を図り、児童・生徒が地域社会の一員としての自覚と誇りをもち、目標に向けて取り組もうとする学園風土を醸成する。

エ 困難な場面に直面しても、ねばり強くかつ柔軟な発想で人生を切り拓いていく力

人や社会とかがわる活動や、社会貢献活動等を通して自己有用感とレジリエンスを高め、「生きる力」を育成する。

(3) コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校としての重点

ア コミュニティ・スクール委員会での報告、承認並びに協議の活性化を通して、地域との協働による学園運営の充実を図る。

イ 社会に開かれた教育課程の実現のために、学園教育目標を家庭や地域と共有するとともに、そのビジョンの理解と周知を図る。

ウ 9年間を通じて育成を目指す「資質・能力」を位置付けた「学園版カリキュラム」(カリキュラム・マネジメント・ガイド)に基づいて、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と実践に取り組む。令和6年度は、特に主体的に学習に取り組む態度の育成に重点を置く。

エ スクール・コミュニティ推進員の活躍を通して地域ネットワークの拡大と充実を図り、地域人財や知的・情報資源を活用した学習指導や「学園サポーター」を活用した教育活動、大学等と連携した「地域未来塾」などの取組を積極的に進め、「学校3部制」の「第2部」「第3部」との連携・関連を図り地域ぐるみで「人間力」「社会力」を育成する。

オ 「三鷹市小・中一貫校 小・中一貫カリキュラム(更新版)」を活用し、義務教育9年間の連続性と系統性のある学習のさらなる充実に向け、小・中一体となって指導に取り組む。

(4) オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承について「ボランティア・マインド」の育成に重点を置いたこれまでの学園の取組をレガシーとして継承し、各学校においてそれぞれの特色に応じた新たな取組を進める。

2 教育目標

(1) 学校の教育目標

心身ともに健康で、互いに協調しながら、国際社会をたくましく生きる児童を育成する。

つよく (すすんで心と体をきたえる。)

やさしく (思いやりの心を持ち、互いに認め合う。)

◎かながえふかく (自ら学び、考え、行動する。)

◆児童の「人間力」「社会力」を育むために、上記、教育目標の下、以下の力を育てていく。

- ・児童自らが自身の心を安定させ、楽しみながらすすんで体力を向上しようとする態度を育てる。
- ・周囲に対する思いやりの心を育むとともに、多様性を認め、協力し合い、相互に理解する力を育てる。
- ・知りたい・学びたいという思いを持ち、自ら学び、自身の考えを明らかにし行動する力を育てる。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- (ア) 「生きて働く『知識・技能』の習得」、「未知の状況にも対応できる『思考力・判断力・表現力』の育成」、「学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力・人間性等』の涵養」を図る。
- (イ) 「三鷹市小・中一貫カリキュラム（更新版）」を活用し、各教科・領域、特別活動等の横断的指導などカリキュラム・マネジメントを推進する。併せて「学園カリキュラム」の活用・評価・改善に努める。
- (ウ) 習熟度別学習や補充的な学習、ユニバーサルデザイン等を活用し、指導の個別最適な学びと協働的な学びとの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の指導の質を高める。
- (エ) 安全で安心できる教育環境を保証し、「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の充実、人権教育の徹底を図る。
- (オ) 体力テストの結果や児童の実態を基にした体育・健康教育の充実を図るとともに児童の心身 両面に配慮しながら健全育成を推進する。
- (カ) 「三鷹市立学校 小・中一貫教育の推進にかかる実施方策」「カリキュラムマネジメント・ガイド」を踏まえ、学園研究を通じた指導の改善を充実させる。
- (キ) 「チームとしての学園・学校」を意識した学園・学校の教育目標を地域と共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
- (ク) コミュニティスクールの良さを基に、地域人財・学園サポーター等を活用し、地域とともに「共育」「協育」を進め、「人間力」「社会力」を育成する。

(3) 学園の教育目標を達成するための学校としての重点

- ア 年間を通して、中学校教員による小学校第6学年の体育と外国語への乗り入れ授業と小学校教員による中学校第1学年の数学への乗り入れ授業、中学年・高学年一部教科担任制を実施し、接続期の指導の工夫・改善を行い、問題解決する力や知識・技能を主体的に更新する力を育成する。
- イ 小・小及び小・中の交流活動を活性化させ、地域とともに学び、多様な人々と新たな価値やよりよい社会を創造していく力を育成する。

ウ キャリア・アントレプレナーシップ教育など、総合的な学習の時間の充実について各教科等の関連を図るとともに地域人財を活用するなど、地域と連携した取組を推進し、柔軟な発想でねばりつよく人生を切り拓いていく力を育成する。

エ 学校支援ボランティアを積極的に活用し、「社会に開かれた教育課程」を推進する。